



世界に希望を生み出そう

第2567号

# 高知東ロータリークラブ 週報

4月11日.2024

本日 4月11日(木)18:30 ザクラウンパレス新阪急高知

8 R C 合同夜間例会

次週 4月17日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知  
会員スピーチ

「私の足跡」

別役 重具 会員

第2613回 例会報告／令和6年3月27日 天候 晴

◇ロータリーソング

「春が来た」

◇会長挨拶



皆さん、こんにちは。  
2週間振りの例会です。  
ご機嫌いかがでしょうか。  
日々、天気や気温差があります。  
春先には多いようですが、  
体調管理には十分注意してください。

12日、13日、14日と情報集会が行われ、17日には次年度の研修協議会が香川県で開催されました。参加された方々、大変ご苦労さまでした。また、昨日は香長RCの花見例会でしたが、あいにくの天気で、月見山ではできずホテルでの開催となりました。私の予定では、花見の帰りに赤岡でドロメを買って家で一杯飲むつもりでしたが、残念でした。

情報集会では活発な意見交換の中で、I serve We serve の話がありました。昔、私がクラブに入会したときを思い出しました。何も分からずIとかWeとか、職業奉仕、社会奉仕とか言われてとまどい、職業奉仕は難しい、分かりにくいと思ったことでした。職業奉仕は社会奉仕や青少年奉仕と比べて具体的な奉仕活動が見えません。そのことが、入会歴の浅い方々にとって、職業奉仕の理解が難しくなっているのではないのでしょうか。

社会奉仕と職業奉仕はどのように違うのでしょうか。また、職業奉仕は具体的にどうい

う活動をするのでしょうか。職業奉仕をひとりでいうとどういうことでしょうか。といった質問がありました。まとめると、ロータリーの目的は、I (アイ)・私の目的になります。職業上の高い倫理基準を保ち、自分の職業をしっかりと行えば、必ず意義のある事業として社会に奉仕し、奉仕をすることになる。そのことが職業奉仕ということです。

奉仕の理想とは「してほしいこと」と「してあげたいこと」がうまくマッチすれば、素晴らしい奉仕になってきます。相手が望む奉仕をすることを考えた活動をするのが大切です。さもないと、小さな親切が大きなお世話となりかねません。

本日の卓話は「防災に対する心構えと準備、被災後の行動等について」というテーマで、自衛隊高知地方協力本部本部長の堀川様です。よろしく願いいたします。

◇会長報告

- 早瀬さんの本葬儀が4月25日と決まりましたが、詳細についてはまたご案内します。
- 先々週卓話に来ていただいた子どもシェルターおるき理事長の吉川清志様より、お礼状が来ています。
- 松崎会員が骨折されたとのことで、お見舞いに行ってきます。後ほど詳しいことはご報告します。

◇幹事報告

- 情報集会及び地区研修協議会への参加、ありがとうございました。

- 4月17日、次年度第1回クラブ協議会を開催します。会場の都合で、例会終了後に行いますので、確認をお願いします。
- 能登半島地震への支援金のお礼報告がガバナーから届いています。
- 3月14日(木)の情報集会でペンとオレンジ色

のメモ帳の忘れ物があります。押栗会員にご連絡ください。

- 先ほど、ロビーに山脇パーキングのレシートが落ちていました。心当たりのある方は幹事まで。
- 本日例会終了後、役員会を行います。

## ◇ゲストスピーチ

自衛隊高知地方協力本部 本部長 堀川 佳紀氏

# 「防災に対する心構えと準備、被災後の行動等について」



私は愛知県名古屋市出身、石川県の金沢大学を卒業後、平成7年に自衛隊に入隊。昨年3月高知地方協力本部長に着任。東日本大震災のときには統合幕僚幹部にいましたので、市ヶ谷の統幕オペレーションルーム、溜池山王にある危機管理センター、仙台市などに派遣されました。熊本地震のときは、陸上自衛隊の調達補給の担当部署で勤務しながら、被災者の皆さまに簡易トイレやレトルトカレーを200万食調達。平成30年7月豪雨では、姫路の駐屯地で人名救助活動、岡山県の倉敷市で災害廃棄物の除去活動などをしていました。

高知地方協力本部は、駅の北側にある合同事務所であり、主に部外との連絡・協力に関すること、自衛隊に関する広報、メインは自衛官の募集を最大のミッションとして付与されて活動しています。県を主に四つに区分して、それぞれ地域事務所があり、香南市の自衛隊高知駐屯地には、大体800名。土佐清水の空自の分屯基地には、30名程度の隊員がいます

活動としては、艦艇広報やスーパーの防災フェアや高知県の防災訓練に参加するなど、自衛隊を知っていただく活動をしています。また、将来の防衛大学生になってもらうために、防衛大の教授や防衛大出身の人が高校で講義を行ったり、あるいは航空学生を目指す人には体験搭乗などもしています。さらに、コンサートや駐屯地の記念行事なども開いて

います。

近年、温室効果ガスの蓄積により気温の上昇が始まり、それに伴う台風の発生が赤道近くからだんだん北の方に上がってきて、威力の強いものが日本に上陸しています。また、雨の降る日や量も多くなっていますし、雪の量も増えています。逆に日照りが続いて、山林火災も発生しています。つまり、災害が大規模、激甚化の傾向にあります。

私が入隊した平成7年辺りから、阪神大震災、中越地震、東日本大震災、熊本地震、今回の能登半島地震といった大きな地震に加えて、小さな地震も多く発生していますし、雨や風の被害、加えて豚熱や鳥インフル、新型コロナウイルス等々、災害派遣も右肩上がりに上がっています。災害対応の中心は、県や市、消防、警察ですが、主に小さな市町村の職員が減ってきているため、災害時に全く対応できないという現状があります。

平成30年の7月豪雨のときは、広島、岡山、愛媛で災害除去物、道路や水路の啓開等々、約3万3,100名で人命救助活動を行っています。

能登半島地震は、大規模な建物被害や火災の発生、斜面崩落、液状化などで道が閉塞してしまった。震源地は能登半島先端、死者は241名。皆さんは、ようやく水道が通ったという話はお聞きになっていると思いますが、七尾市は残り1%、穴水町や志賀町は上水道が回復しただけで下水道はまだ回復していま

せん。そのため、給食、給水は減っていますが、だんだん暖かくなってきたことで、逆に入浴支援は増えています。高知県も南海トラフが起きれば、同じような感じになるのかなと類推されます。

災害派遣現場は、例えば釘があったり、電線があったり、いろんな物が落ちていて非常に危険です。こういった中で隊員は活動をしています。また、住民は高齢化しています。私が大学生だった34年前から能登半島は高齢化、過疎化が言われていて、高齢者を助ける若い人が周りにいないため、困難を極めた状況でした。輸送活動も、道が通れないため、ヘリコプターや船で運ばれてきた物資を人力で山道やけもの道を通って、それぞれの孤立集落に運んでいくといった人力主体の厳しい、きつい任務で、これは一部ですがまだ継続しています。また、犬ロボットなどを活用して、荷物を載せて運んだりもしました。重機に関しては、海上自衛隊の輸送艦「おおすみ」に重機を載せて、海岸近くになるとホバークラフトに載せ替えて運ぶといったこともしていました。自衛隊には現役で医者も看護師も薬剤師もいますし、予備自衛官として日頃から一般の医者や薬剤師もお願いしていますので、この方たちを招集して現場に行っていました。

人は災害が起こったとき、これぐらいは普通だと。変わったことが起きても、それが異常だと思わない傾向があります。東日本大震災の後、内閣府防災が聞き取り調査をした結果、6割は避難所にすぐ向かったのですが、4割は、あれだけ大きな地震でも向かわなかった。なので、津波被害者が2万人を超える被害が出たのではないかと思います。また、自分だけは大丈夫という自信。楽観的なところがあります。平成30年の豪雨のとき、姫路で2日間で200ミリ、山の方では線状降水帯が発生し、2日間で400ミリ。現地の人たちに避難所に避難するように言ったのですが、集落全体が行かないということで、結果、集落ごと飲み込まれてしまいました。

人は、災害時に冷静だと直感的に考えて判断してしまう可能性があります。東日本大震災では、釜石市の小中学生3,000人、誰一人被害に遭いませんでした。釜石では、昔から

「津波でんでんこ」と言って、津波が来たら家族を置いてでも一人で高いところ、避難所に行けということが浸透していて、みんな自己の判断で動いて助かっています。早めの危機スイッチを入れることが大事です。

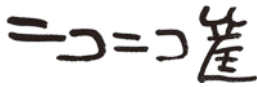
最後は恐怖や焦りによる判断ミス。宮城県の野蒜の指定避難場所は標高8m、気仙沼市は標高12m。普通の心理では、そんな低いところだと津波に飲まれるかもしれないと思うのですが、実際にはそんな判断ができずに、14mの津波がきて流れてしまいました。落ちていて、行動することが必要です。

防災に関する準備としては、家屋の耐震化と家具の固定化。胸より高い位置に物を置かない。家具の転倒や物の落下によって、負傷を回避する。本棚等は入り口から遠くへ置き、入り口を妨げないレイアウトがポイント。自宅の周りの避難所を知り、実際に歩いて確認する。家族との連絡方法。初期消火の基本を身につける。非常持ち出し袋や防災用品の準備（1週間分の食材やカセットコンロ）、簡易トイレの準備。お風呂の水は空にしない。車のガソリンを入れておく等々、被災時に自ら行動できるように準備をしておくことが重要です。そして、被災後は、揺れが収まってから落ち着いて行動すること。実働部隊が来るまでには時間がかかりますので、共助で対応できるように、地域で取り組む防災訓練に参加して、意識を変えていくことが一番です。

各県で、作成している防災アプリを検索するとあらゆる情報が分かります。皆さんも日頃から見て、すぐに対応できる準備をしておくことをお勧めします。

近年の大規模な災害派遣時における嵐川の対応

災害名	自衛隊の活動概要	自衛隊の補給先	災害派遣時の対応
東日本大震災	H23.3 ～9	統合幕僚監部 J5 幕僚	○被災オペレーションチーム対応員 (東京駐) ○災害応急処置センター派遣隊員 (東京駐) ○宮城県災害対策本部派遣隊員 (宮城通信台赴)
熊本地震	H28.4 ～5	補給訓練本部 企画課員	○陸自中女兵社講習所隊員 (東京駐)
平成30年 7月豪雨	H30.7 ～8	第3特別陸揚隊 と第陸自電機司令部	○人名救助活動 (兵庫県災害内) ○災害物資供給員及び船水支援活動 (岡山県災害内) ○自衛隊の派遣活動の支援 (兵庫県関係)



- 吉永光男 地区協議会参加された方、ご苦労様です。
- 佐野博三 堀川様、卓話ありがとうございました。
- 中越貴宣 3月17日、地区研修協議会へのご参加ありがとうございました。岡本さん、運転お疲れ様でした。
- 岡崎勇樹 3月17日、地区協議会、当日欠席となり、申し訳なく皆さまにご迷惑をおか

けしました。まだヘルニアが完治していませんが、そのうち治ると思います。

- 中平真理子 香長、お花見例会、吉永会長、佐野副会長、お疲れ様でした。会長、運転ありがとうございました。
  - 柳澤光秋 今年もイソヒヨドリが帰ってきました。透き通ったきれいな声で鳴いています。
  - 別役重具 妻の誕生日祝いお礼。
  - ザ クラウンパレス新阪急高知 いつもサロンイーストのご利用ありがとうございました。
- ◇早退 3件

■高知東RC当面の日程

- 4月17日(水) 第5回 (次年度第1回)  
クラブ協議会(例会終了後)  
(ザ クラウンパレス)
- 4月24日(水) 役員会
- 5月1日(水) ローターリー休日
- 5月8日(水) 定例理事会  
東酔会開催予定
- 5月15日(水) 第6回 (次年度第2回)  
クラブ協議会・現新合同  
(ザ クラウンパレス)

- 5月29日(水) 役員会
- 6月5日(水) 定例理事会
- 6月12日(水) 委員会活動実績報告
- 6月19日(水) 委員会活動実績報告  
理事エレクト会(例会終了後)
- 6月26日(水) 最終夜間例会  
(ザ クラウンパレス)

● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ	チビニコ	合計
先週まで	1,121,941円	7,128円	1,129,069円
3月27日	16,126円	0円	16,126円
今期の累計	1,138,067円	7,128円	1,145,195円

● 出席率報告 ●

	総数	出席	欠席	マイク アップ	HC出席率	出席率
3月27日	<sup>-7</sup> 56	36	5	8	64.29%	89.80%
3月13日	<sup>-7</sup> 57	37	0	12	67.86%	100%

- 会長 / 吉永光男 ● 幹事 / 中西克行 ● 雑誌会報委員 / 関 淑公・岡崎勇樹・広瀬雅彦
- 例会日 / 毎週水曜日12:30PM~1:30PM ● 例会場 / ザ クラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111
- 事務所 / 高知放送南館8階 〒780-0870 高知市本町3-3-39 直通 (088)824-8660
- ホームページアドレス(PC・携帯共通) <http://www.kochi-east-rc.com>
- メールアドレス 事務局 / [hccr@coffee.ocn.ne.jp](mailto:hccr@coffee.ocn.ne.jp) 広報 I T 委員会 / [info@kochi-east-rc.com](mailto:info@kochi-east-rc.com)